

## [演習林]

# 令和3年度 附帯施設演習林の活動報告

松田 陽介

紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林長

本年度も依然としてCOVID19の影響により従来のような自由な雰囲気の中での活動にはほど遠い状況でした。とりわけ教育研究活動においては、宿泊が困難であったため、演習林スタッフと実習担当教員とが連携を取り合いながら、日帰りに内容を変更したり、オンラインを活用して現場を感じられるような工夫を凝らしたりしながら、地域の中核大学として有為な人材を輩出するためのサポートをFSCの傘下において行うとともに、山林の維持管理、地域貢献を推進した。さらにホームページを刷新して、オンラインやデジタルコンテンツを充実させて、時代の要請に応え得る活動体制を構築しつつある。演習林の魅力をオンラインで発信するだけでなく、技術職員が保有する高度な技術を発揮し、本学管轄の現場に直接赴き、機動的な対応も進めている。

令和三年度に演習林で行われた活動の概況を以下のように報告する。

### 【研究】

これまで調査を進めてきた「ナラ枯れ被害防除調査」をとりまとめ、中部森林学会（オンライン開催）において技術職員が口頭発表（三重大大学演習林におけるナラ枯れ被害の発生・経過とカシノナガキクイムシの形態特性について）を行った。演習林内での本被害の拡大が懸念されるため、発表後もこの研究を継続して実施している。三重県との共同研究の「人工林内の土砂移動試験」、関連教員の支援の下で「演習林

産スギ材を用いた三重大大学ブランド商品開発」などが行われた。さらには「演習林における燻製器およびスモークチップの試作」の試作品製造とそれに関わる実験補助、「樹木葉を活用した発酵茶の開発」の試料サンプルの採取、「スギ林における樹上線虫群集の季節変動」の試料採取補助、「UAV-SfM技術とALSを組み合わせた森林計測手法の評価と応用」の立木調査、「三重県松阪市の事例を用いた林業収益性の分析」のデータ取得・提供など、関連研究室の調査研究補助が積極的に行われた。

### 【教育】

「令和三年度演習林実習等実施計画表」にもとづき、計18回の実習が行われた。中止により翌年度開講を余儀なくされる科目もあった。教養教育院で開講する全学年対象の自然科学概論「森は生きている」および1年生対象のフィールドサイエンスセンター体験演習などは、オンラインで実施された。2～4年生対象の森林コースに所属する学生を対象に行われたほとんどの科目は日帰りで実施されたり、上浜キャンパス敷地内による実習に変更して行われたりした。一部の实習科目では、参加人数を減らして複数回に分けることで演習林施設での宿泊を伴う形式で行われた。対面による実体験を通して、樹木学、測量学、森林土木学、林分調査法、砂防学、森林利用学など、森林管理の現場で必要になる内容を網羅しており、森林科学、森林管理に密着した実習を実施することで、実践的な

人材の育成に努めた。

フィールド環境教育DX推進プロジェクトにおいて、観測機器のシステム構築のための電源インフラの整備が実施された。演習林とともに、農場や水産実験場でも整備され、今後、野外データの教育研究活動への利活用が期待される（写真1）。

#### 【地域連携・社会貢献活動】

- 技術職員が小学校で開催された林業体験学習（松阪市内）で講師を務めた（写真2）。
- 美杉木材市場で開催された美杉木材まつりに演習林の生産物を出品した。同市場で進められる木の駅プロジェクト（山で放置されている木質バイオマス、林地残材）に演習林から約19 t を供給した。
- 西垣林業マルタピアで開催された春季伊賀材まつり市に演習林の生産物を出品した（写真3）。

#### 【管理・運営】

- 伊藤正明学長らが演習林を来演、見学された（写真4）。
- 第4回三重大大学おしゃれスポットで演習林の投稿写真が優秀賞を受賞した（写真5）。
- 林内の森林管理で支障となるアセビ、シキミの枝物を道の駅で出荷、販売した。
- 附帯施設水産実験所の鳥羽移転開所式にあわせて、演習林で作成した木工品を寄贈した。クラウドファンディングの寄付に対する返礼品の提供を行なった（写真6）。
- オンラインで開催された学内の若手技術職員研修会において、当センターの技術職員が主体となり開催した。
- 演習林の魅力を発信するためホームページを刷新し、日々の出来事を発信した。  
(<https://hirakura.sakura.ne.jp/fores-t/>)



写真1. DX推進プロジェクトで庁舎屋上に整備された気象観測機器（右）と野外の計測機器用電源（中央）。演習林をはじめ、他の附属施設でも整備され、気象データなどの教育・研究への利活用が期待されます。レーザー加工機（左）は木版への印刷が可能であり、温かみある木工品の試作に取り組んでいる。





写真 2. 松坂市で実施された林業体験学習。小学生41名らが木のぬくもりを感じる体験のお手伝いをした。



写真 3. 春季伊賀材まつり市（西垣林業マルタピア）の競り。



写真 4. 伊藤学長一行が来演。あいにくの雨でしたが、演習林の自然の豊かさを堪能いただいた。



写真 5. おしゃれスポットで受賞した写真。演習林には四季折々、至る所に撮影スポットがあります。



写真 6. 附帯施設水産実験所の開所式に演習林産の木工品（左）やクラウドファンディングにおける寄付の返礼品（右、演習林産スギ材の割箸及びフォトフレーム）を提供した。